

アウトリガーカヌーレース主催および参加における  
新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン

2020年10月

日本アウトリガーカヌー協会（JOCA）

日本アウトリガーカヌー協会加盟のレース主催クラブ代表が集まって議論をし、アウトリガーカヌーというスポーツの実態に沿って、レースを主催あるいは参加する際のポイントをまとめました。

<レースの主催者>

- まず大前提として、開催地の都道府県の方針に従ってください。
- レースの開催は「感染リスクへの対応が整っている」ことが前提です。整わない場合は中止または延期の判断をお願いします。
- アウトリガーカヌーの特性を勘案した上で、感染防止のために自らが実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項を整理し、チェックリスト化してください。それをレースの受付など適切な場所に掲示するとともに、各事項がしっかりと遵守されているか定期的に現場を確認することによって、レースの主催者だけでなく、参加者を含む関係者全員が感染防止のために取り組む状態をつくってください。
- レースへの参加募集に際し、感染防止策の遵守に協力を求めてください。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保するために、レースへの参加を取り消したり、途中退場を求めたりする場合がありますことを周知してください。

（感染拡大防止策のための遵守事項）

- ① 体調不良の場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状があるなど）、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国や地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合は、自主的に参加を見合わせる
- ② マスクを持参すること
- ③ 参加受付時、着替え時や休憩時などアウトリガーカヌーで海に出ていないとき、会話をする際にはマスクを着用すること
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ⑤ いわゆる「3密」を避け、他の参加者、主催者スタッフ等とのソーシャルディスタンスを確保すること（ハグや握手などの直接的な接触を避ける）
- ⑥ 陸上や観覧艇で大きな声での会話や応援をしないこと
- ⑦ レース終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

（レース受付時の留意事項）

- ① 受付窓口には手指消毒剤を設置すること
- ② 参加費等の徴収をできるだけ振込等で行い、当日の現金授受を極力避ける
- ③ 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないよう注意を促す。受付時に検温を行うことによって、発熱者または有症状者の参加防止をより徹底できる
- ④ 参加者がソーシャルディスタンスをとって並べるよう配慮すること
- ⑤ 受付スタッフはマスクを着用すること
- ⑥ その他、WebサイトやSNSの活用、レース前日の受付など、当日の混雑を避ける工夫をできるだけ行うこと

#### <レース参加者への対応>

- ① レース当日（あるいは前日まで）に参加者から以下の情報を主催者が保存できる形で提出してもらうこと
  - ・氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号） ※個人情報の取り扱い注意
  - ・レース当日の体温
  - ・レース前2週間における以下の事項の有無
    - 発熱、咳、咽頭痛などの症状
    - 倦怠感、息苦しさ、呼吸困難
    - 嗅覚や味覚の異常
    - 体が重く感じる、疲れやすい
    - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触の有無
    - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
    - 過去14日以内に政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国や地域への渡航、または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクなどを準備しているか確認すること
- ③ 自クラブの控えテント内、アウトリガーカヌーで海に出ているとき以外ではマスクを着用するよう注意を促すこと（気温や湿度が高く熱中症のリスクが高くなる場合や、十分な呼吸ができずに体に悪影響を及ぼす可能性がある場合は除く）
- ④ 自クラブの控えテント内での感染拡大防止策は各クラブで普段から講じている対策に準じて各クラブで徹底すること
- ⑤ レースの前後も含め、参加者同士あるいは主催者と参加者間の直接的な接触（ハグや握手等）を避けるよう注意する

#### <レース会場にて準備すべき事項>

- ① 手洗い場所の明示、手洗いが難しい場合はアルコール等の手指消毒液を用意すること
- ② 主催者が飲食物を参加者に提供する際は、以下を徹底すること
  - ・飲食物を取り扱うスタッフにはマスクなどを着用させる
  - ・参加者に飲食物を提供する際、手洗いや手指消毒を行うこと
  - ・飲料品を提供する場合はペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供すること
  - ・利用者が密になる場合は入場制限を行うこと
- ③ 自クラブの控えテント内での感染防止対策についてはそれぞれのクラブ毎のルールに沿って対応してもらうよう促すこと
- ④ 観客がいる場合は以下を徹底すること
  - ・3密回避、ソーシャルディスタンスの確保
  - ・大声での声援や会話を控えたり、会話をする場合にはマスク着用を促す

※参考ホームページ

公益財団法人 日本スポーツ協会

「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（10月2日更新版）

<https://www.japan-sports.or.jp>